

# POWER!

2019年  
1月  
vol. **61**

平成31年(2019年)  
1月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟  
〒160-0004  
東京都新宿区四谷4-3  
四谷トーセイビル2階  
TEL (03) 3225-3100  
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月発行

http://www.yakuren.jp



## 新年のご挨拶

日本薬剤師連盟会長 **山本 信夫**



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、診療報酬・調剤報酬の改定があり、住民・患者から信頼されて選ばれる「かかりつけ」としての機能と役割を充実・強化し、各地域で構築される「地域包括ケアシステム」の一翼を担い、貢献していくことが薬剤師・薬局の役割として、より鮮明に求められました。

また、改正から5年目となった医薬品医療機器等は、薬剤師・薬局の基本的なあり方の見直しが検討されました。40年ほどの間に薬剤師・薬局を取り巻く環境が大きく変化してきたことへの対応等を盛込んだ改正法案が通常国会において審議されることとなります。

その一方で、医薬分業の趣旨に反するだけでなく、「患者のための薬局ビジョン」にも逆行する大学病院等による同一敷地内への薬局誘致が続いています。

このような激動する環境の中で、日本薬剤師連盟が果たす役割は益々大きなものとなってきており、全国の薬剤師の皆様のご支援とご協力がより重要となっています。

さて、本年は第25回参議院議員選挙が7月に実施されます。組織内統一候補として本田あきこ副

会長は、一昨年から全国を訪問して本年3月までに2巡する予定となっております。これまでに36都道府県で支部訪問をさせていただいております。これまで訪問させていただいた都道府県の皆様には温かく迎えていただきましたことに衷心より感謝申し上げます。

全国の本田あきこ後援会における活動は、残すところ6カ月の期間となってまいりました。支援者の数も多くなつては来ていますが、未だ十分な数字には残念ながら至っておりません。さらに一層の後援会活動へのご支援を賜らなければなりません。

われわれ日本薬剤師連盟役員一同も、心をついにし、一丸となって力を緩めることなく邁進してまいります。

今年の干支は「亥」です。ただ突っ走るだけではなく、精緻に計画を練り上げながらの「猪突猛進」で皆様とともに頑張りたいと存じます。

本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますことを祈念申し上げます。新年の挨拶といたします。



## 新年のご挨拶

日本病院薬剤師連盟会長 **木平 健治**



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしくお健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の診療報酬改定では、日本病院薬剤師会からの連携に関する要望が評価され、また、AST加算では薬剤師の働きが大いに期待されており、会員の皆様の日頃の努力が実を結んだものと喜んでい

ます。

しかし、今後の医療・介護の環境の変化の中で、病院・薬局ともに薬剤師として力を発揮するためには、薬の専門職として日頃から、薬物療法の有効性と安全性の確保に尽力していることを、国民の皆様にご理解して頂くことが最も重要なこととす。そのような薬剤師の本来の使命を果たすためには、法的な

裏付けはもとより、経済的には診療報酬という形で評価が必要で、そのためには政治の力が極めて重要で不可欠です。

日本病院薬剤師連盟は、党派を超えて薬剤師議員を応援してまいりました。日本薬剤師連盟等と共に薬剤師である本田あきこ氏を推薦し、薬剤師の地位向上のために活躍して頂くことを願っております。

本年が、皆様にとって明るい一年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

## 新年のご挨拶

日本女性薬剤師連盟会長 **近藤 由利子**



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素より日本女性薬剤師会に深いご理解とご指導を賜り心より御礼申し上げます。

薬剤師を取り巻く環境は、医療の進歩に伴う薬学・薬事の進展、急速な高齢化等により大きく変化し、

薬剤師の医療における役割・期待も大きくなってきました。これに因應べく日本女性薬剤師会では女性の視点に立った研修事業を進めております。

全国研修会・会長会・交流会、全国移動セミナー、ブロック研修会等を継続実施していますが、この機会をはじめ、あらゆる会を通して本日の活動を周知しています。12

月2日には決起大会を実施し女性団体の結束力を発揮、本田あきこ氏を激励しております。今年の干支は亥です。本田あきこ氏の支援に猪突猛進、薬剤師に限らず一人でも多くの理解者を増やし、男女共同参画社会を目指しています。

昨年は度重なる大きな自然災害等で大変な年でしたが、本年は天皇陛下のご退位と皇太子さまのご即位、新しい年号で記念すべき明るく佳き年になりますように祈念申し上げます。本年もよろしくご指導の程お願い申し上げます。

## 比例代表は政党名ではなく候補者名を書こう!

～参議院選挙のしくみと投票方法～

### 参議院選挙のしくみ

参議院議員選挙は各都道府県の区域を選挙区の単位とした「選挙区選挙」と全国を単位とした「比例代表選挙」があります。

有権者は「選挙区」と「比例代表」それぞれに投票する必要があります。一人が「二票」投票することになります。

比例代表選挙では、当選させたい候補者の獲得票が多ければ多いほど、政党内候補の順位が上がり、当選することができます。比例区はぜひ「名前」を書いて投票しましょう!

「名前」を書きましょう!



### 参議院選挙の投票方法

比例代表選挙の投票

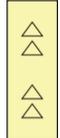
白色の用紙



「比例代表」は「候補者名」を書いて投票しましょう。

選挙区選挙の投票

うす黄色の用紙



「選挙区」はあなたの選挙区の「候補者名」を書いて投票します。

※政党名でも可

# 本田あきこ副会長、

第十一弾



本田の本だ!!

# 全国訪問の旅



## 北陸信越ブロックにおいて支部訪問活動を展開!

11月に入り、本田あきこ副会長の支部訪問は北陸信越ブロックに入った。

○長野県(11月5、6日、8、9日)

訪問支部数13、訪問施設数148、集会参加人数102人、握手した人数760人。支部訪問の途中(7日)、日本医薬品卸勤務薬剤師会東海ブロック合同研修会に参加のため名古屋を訪問した。

○石川県(11月14日、16日)

訪問支部数9、訪問施設数99、集会参加人数92人、握手した人数633人。

○新潟県(11月19、20日、22、23日)

訪問支部数10、訪問施設数56、集会参加人数338人、握手した人数400人。

23日は若手フォーラムと本田あきこ先生と語る会に参加した。また、支部訪問の途中(21日)、西日本貸おしぼり協同組合総会後の記念講演会の講師として福岡市を訪問した。

○富山県(11月27日、29日)

訪問施設数80、集会参加人数86、握手した人数1367人。

○福井県(12月4日、6日)

訪問支部数7、訪問施設数90、集会参加人数75、握手した人数530。



東京なでしこの集い(10月21日)



茨城フォーラム(10月21日)



関東ブロック研修会 栃木(10月28日)



新潟女性薬剤師による本田あきこ先生を囲む会(11月22日)



和歌山県薬剤師フォーラム

和歌山フォーラム(12月9日)



100名サミット結成会(11月4日)



熊本 本田あきこを励ます会(11月24日)



卸勤務薬剤師会 東海(11月7日)



西日本おしぼり総会(11月21日)

### 各地で女性の集い!

10月以降も各地で女性を中心とした集いが開催され、次の会合に参加した。参加できなかった、日本女性薬剤師会全国移動セミナー in 新潟(11月3日)、広島県女性薬剤師の集い(12月16日)には、ビデオメッセージを送付した。

○10月21日(日)、「東京なでしこの集い」が都内ホテルで開催され、グループ討議に参加した。

○10月21日(日)、茨城県つくば市で開催された「本田あきこさんを囲む」の

フォーラム」の「お茶会」に参加し、意見交換を行った。  
○10月28日(日)、栃木県宇都宮市で開催された「日本女性薬剤師会 第46回関東ブロック研修会 in 栃木」に参加し、懇親会で挨拶を行った。  
○11月22日(木)、新潟県の支部訪問3日目の夜、女性薬剤師とのミニ集会に参加した。集会には、結婚して新潟に住むようになった女性薬剤師の会「新潟タンドライオン」の方々も多く参加された。  
○12月9日(日)、和歌山市で開催された「女性フォーラム」に参加し、講演を行った。

### 地元熊本での会合に参加!

○11月4日(日)、熊本市内で開催された「100名サミット結成会」に出席した。この会は、本田あきこ副会長の地元後援会である「顕政会」の目標達成のためにベストを尽くす有志のグループである。約200名が参加した。

○11月24日(土)、熊本県薬剤師連盟主催の「本田あきこを励ます会」に出席し、決意表明を行った。薬剤師や薬局の従業員等約260名が参加した。

### 支援団体の会合で講演!

○11月7日(水)、名古屋市中で開催された「平成30年度卸勤務薬剤師会東海

## 決戦の年を迎えて!

日本薬剤師連盟副会長 本田 あきこ

新年あけましておめでとうございませう。会員の皆様には、お健やかに素晴らしい新年をお迎えになられたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年1月より全国の支部訪問活動を開始し、昨年末までに36都道府県を訪問することが出来ました。訪問先の皆様には大変お世話になりました。改めて御礼申し上げます。事前の訪問計画の策定、活動中のお心配りなど、皆様が一生涯懸命応援して下さいました。私共もその応援に励まされながら、精いっぱい活動を続けさせていたいただきました。また、同行していただく県業連盟の皆様や訪問先の方々、Something Orange: オレンジ色の何かを身に付けて下さり、皆様と一体感を覚えながらの活動でした。

昨年を振り返りますと、2月に地元熊本において「本田あきこを励ます会」を開催し、薬剤師会のみならず各方面から多数の皆様にご参加いただき

出来ました。また、初夏のころから西日本を中心に、集中豪雨、地震、台風などの大災害に襲われました。そのような中、7月には、日本の災害対策等について安倍総理と対談する機会を得ることが出来ました。そして会員の皆様のご支援のおかげで、無事自民党の第一次公認をいただくことが叶い、自由民主党熊本県参議院比例区第十六支部を設立することができました。

さて、本年はいよいよ決戦の時を迎えます。平成29年3月の定時評議員会において組織内統一候補に決定していた以来、さまざまな活動を通じて賜りました支援者の皆様のおかげで、温かいお気持ちを胸に、薬剤師の更なる結束を目指し、悲願達成のため一杯頑張ることをお誓い申し上げます。今年も、私は年女。直往邁進で頑張ります!

○11月21日(水)、福岡市で開催された「西日本貸おしぼり協同組合 通常総会」に参加し、集団生活、災害時における公衆衛生対策などについて講演を行った。

た「西日本貸おしぼり協同組合 通常総会」に参加し、集団生活、災害時における公衆衛生対策などについて講演を行った。

平成30年度

### 第2回全国会長・幹事長拡大会議開催される

11月13日(火)午後3時より都内ホテルにおいて、今年度2回目の「全国会長・幹事長拡大会議」が開催された。当日はこの後「本田あきこ中央後援会第3回役員会」、「藤井もとゆき君と語る会」が予定されていたため、薬剤師連盟活動に特化した会議となった。まずは山本会長の開会挨拶で始まり、薬剤師国会議員である藤井基之参議院議員からも挨拶があった。次に司会者より座長の指名が行われ、秋田県薬剤師連盟の大越会長が以降の進

行を務めた。最初に執行部より活動報告があり、会務及びブロック協議会や薬剤師フォーラムの開催状況、また第4次安倍改造内閣等、自民党人事の説明がなされた。続いて直近の政治課題として、日本薬剤師会の国への要望事項や31年度の厚生労働省予算、及び税制改正について紹介があった。また参議院選挙や統一地方選挙における活動助成金の考え方が示された後、質疑応答があり閉会となった。

### 本田あきこ中央後援会 第3回役員会

全国会長・幹事長拡大会議に続き、本田あきこ中央後援会 第3回役員会が開催された。

その後、今後の後援会活動タイムスケジュール、都道府県訪問活動、支援者名簿収集活動、広報活動についてそれぞれ、尾島副会長、荻野副会長、安東副会長より説明があった。また組織強化につ

いて、丹下常任総務より、ステップ表の具体的な活用法の説明があり、各支部での活用を依頼された。

次に木平日本病院薬剤師連盟会長、近藤日本女性薬剤師連盟会長より、それぞれの活動の報告と、今後の取り組みについての説明があった。

最後は連盟企画実行委員による決意表明があり、会員一丸となって本田あきこ副会長を盛り上げていくことを再確認した。



11月13日(火)午後3時より都内ホテルで開催された第2回全国会長・幹事長拡大会議の様子。

### 「藤井もとゆき君と語る会」が開催される!



11月13日(火)、都内ホテルにて「藤井もとゆき君と語る会」が開催された。語る会は、本田あきこ副会長の進行で始まり、まず、発起人を代表して山本会長が挨拶、続いて、来賓の挨拶に移り、岸



田文雄自民党政調会長・宏池会会長、松本純衆議院議員、手代木功製薬産業政治連盟会長、鹿目広行日本薬業政治連盟会長より激励の挨拶がなされた。また、健康保険政治連盟の大塚陸毅会長からはお祝いのメッセージが寄せられ、司会者から披露された。

安倍総裁からの祝電の披露のあと、藤井もとゆき参議院議員より国会報告を含めた挨拶がなされ、続いて本田あきこ副会長を登壇させ、参加者に紹介していただいた。

次に、とかしきなおみ衆議院議員の発声で乾杯が行われ、懇談となった。藤井議員は、会場を回り、多くの支援者と意見交換を行った。

最後に、尾島副会長が中締め挨拶を行い、和やかな会が閉会となった。



11月13日(火)午後3時より都内ホテルで開催された「藤井もとゆき君と語る会」の様子。

### 新年挨拶

製薬産業政治連盟会長 手代木 功

新年明けましておめでとうございませう。日本薬剤師連盟の皆様方におかれましては、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、地震や台風等多くの自然災害が我が国に甚大な被害をもたらしました。改めまして、被災されました皆様方に心よりお見舞い申し上げます。

さて、薬局を取り巻く環境に目を向

心な服薬には繋がりません。先生方が今日まで築いてこられた安心・信頼に心から敬意を表しますとともに、本年も貴連盟の皆様方には、薬剤師の先生方や薬局が、地域住民にとって、より身近な存在となり、今まで以上に充実した薬学的管理、服薬指導ができる環境を整備されるものと期待しております。

最後になりますが、新年にあたり貴連盟の皆様方の益々のご繁栄、ご発展を心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

### 新年を迎えて

日本薬業政治連盟会長 鹿目 広行

新年あけましておめでとうございませう。皆様方におかれましては、よき新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は災害の多い一年だったと思えます。関東圏での大雪に始まり、大阪北部地震、北海道胆振東部地震、西日本豪雨、そして相次ぐ大型台風の上陸などにより日本列島は各地で大きな被害がでました。いずれもわれわれの業界にとって大きな脅威であり、皆様方におかれましては大変なご努力を払

わかれたものと拝察致します。被災された方々、今も復興にご尽力されている方々に改めてお見舞いを申しあげます。

さて医療行政に目を転じますと、昨年の診療報酬改定と介護報酬改定においては医療供給体制の改革の道筋が明確となり、来るべき超高齢化社会をにらんだ地域包括ケアシステムの構築が地域毎に進んでまいりました。今まさに、従来の延長線上に未来はない不確実な時代、激変の時代に差し掛かった

この変化の時代において、医療の方向性や実務にも明るい本田あきこ副会長には、我々の羅針盤となつてご指導を頂きたいと切望致しております。

我々日本薬業政治連盟は、本田あきこ副会長を全力で応援してまいります。

本年も昨年同様、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

### 新年のご挨拶

健康保険政治連盟会長 大塚 陸毅

謹んで新年のお慶びを申し上げます。さて、今年も多岐にわたる政治の世界では「選挙の年」と言われます。3年毎の参議院議員選挙と4年毎の統一地方選挙が行われ12年に1度であることから言われるのですが、なかでも今年度の参議院議員選挙は社会保障制度にとって極めて重要な選挙となります。高齢化により高齢者の割合は増え、一

方で少子化により支え手である生産年齢人口は減少してまいります。所謂、「団塊の世代」が全て75歳以上となるのが2025年ですが、今回の参議院議員の任期6年は、まさにその2025年までとなります。この6年のうちに、これからの社会保障制度をしっかりと持続可能なものとしなければ、皆保険はじめ安心の社会保障制度という我が

国の宝を後世に繋ぐことができなくなります。貴連盟におかれては、その大任を本田さんに託しておられますが、私共も、保険者の中核として立場の違いこそあれ、社会保障制度を確固たるものとするために本田さんには是非とも活躍いただかなければならないと強く願っております。

今夏の参議院議員選挙が、そして新しい元号となる本年が、持続性ある制度の起点的年となるよう祈念しております。

# 新年挨拶

衆議院議員 松本純

自民党国会対策委員会委員長代理 薬剤師



新年明けましておめでとうございませう。大変お世話になりました。感謝申し上げます。現在、国対委員長代理として丁寧な審議を通じ円滑な議事運営のため力を尽くしています。

さて、薬剤師の役割が変化し、薬局業務についての意見が出され、国民から信頼される薬剤師としての取組が求められていて、少子高齢化のなか、社会保障制度の維持のため、医療・介護・生活支援等を包括的に確保する「地域包括ケアシステム」を構築することが課題となっております。在宅を含め患者さんの療養の場が多様化する中で、切れ目なく継続的に有効で安全な薬物療法を受けられるようにするため、患者さんから選ばれた「かかりつけ薬剤師」として、医療機関等と連携し、医療・介護の一翼を担い、活躍いただくことが期待されています。病院薬剤師と薬局薬剤師の連携が重要で、入院時における患者の服薬状況等の情報共有のほか、外来でがんの薬物療法をはじめとして専門性が高い薬物療法に薬局薬剤師が関わる機会が増加している中、連携しながら地域の患者さんを支えることが求められます。健康寿命の延伸のために、健康相談に対応し、適切な専門職種等につなぐこと等が大切です。

現在、医薬品医療機器等法の見直しに向けて、制度改正の検討が進められており、課題として、薬剤師・薬局のことが取り上げられています。皆様方には、薬剤師が担うべき職能や今後の薬局のあるべき姿について、将来の社会の中で必要とされる姿を見据えて、この機に改めて考え提案をしていただくことが必要です。

そして、経済再生には政治の安定が不可欠で、経済を引き上げることやその経済成長の上で社会保障制度が堅持されなければならないことを胸に本年も全力で頑張っております。

参議院議員 藤井基之

自民党組織運動本部部長代理 薬剤師・薬学博士



新年あけましておめでとうございませう。日本薬剤師連盟の会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこと、心よりお慶び申し上げます。今年も参議院議員選挙が行われます。自民党組織運動本部部長代理として、薬剤師議員として、薬剤師議員仲間との誕生を目指して頑張りたいと思います。

さて、昨年の調剤報酬改定は、薬局における対人業務や在宅業務などの地域医療への貢献をより高く評価するとともに、いわゆる大型前薬局の評価の適正化、いわゆる同一敷地内薬局の調剤基本の引下げなど、「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けて、すべての薬局が「かかりつけ薬剤師、薬局」としての機能を発揮していくことへの大きな期待を示すと同時に、病院敷地内への保険薬局の設置や誘致の動きに警鐘を鳴らすものとなりました。

厚生労働省は、薬局・薬剤師のあり方について、昨年の厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会の検討結果を踏まえ、薬機法、薬剤師法の見直しを進めています。薬剤師・薬局の地域医療での役割は、社会の高齢化、医療の高度化に伴い、一層高まるものと思います。

皆様方の益々のご活躍、ご健勝をお祈り申し上げます。年頭のご挨拶と致します。

衆議院議員 とかしきなおみ

自民党環境部会長 薬剤師



明けましておめでとうございませう。山本信夫会長はじめ会員の皆様におかれまして健やかに新年をお迎えになりましたこと、心よりお慶び申し上げます。

私は初当選以来、変革期にある薬剤師の役に立てることがないか、常に心に刻んで政治家としての活動を行ってきました。そして落選した2009年には調剤の現場を経験するために国立循環器病研究センター付近の薬局に薬剤師として勤務する機会を頂きました。その時、それぞれの患者さんにお渡しする循環器病治療薬の余りの量の多さに驚き、このような大量の薬を飲む前に、薬剤師には何か出来ることがあるのではないのか……そんな思いから『北大阪健康医療都市(健都)』の構想がはじまりました。

国民の健康管理の段階から薬剤師が関われば、病の発症をもっと抑えられるのではないかと、病を発症させない医療を地域に定着させれば日本の健康寿命はもっと延びるのではないかと、地域の薬剤師と医療機関が健康管理の段階から連携ができないか。

健康管理は患者さん自身が実費を払って薬剤師が行う、という関係を患者さんとの間に築けないのだろうか。薬剤師のカウンセリングを中心とした新しい仕事に挑戦していくのが『健都』の街です。

衆議院議員 逢坂誠二

立憲民主党政務調査会長代行 薬剤師



明けましておめでとうございませう。山本信夫会長をはじめ、会員の先生方におかれまして、お健やかに新春をお迎えのこと心からお慶び申し上げます。

日頃より、逢坂誠二の議員活動に対し、特段のご支援とご協力を賜り、改めてお礼申し上げます。逢坂誠二は、現在、衆議院予算委員会の野党筆頭理事、法務委員会委員などを拝命し、党においては、政調会長代行として、立憲民主党の政策的な責任者を務めています。

日本薬剤師連盟会員の先生方のご要望の実現とともに、私たちの責務は、法律を作ると同時に、行政府の不十分な取り組みを促すなどの役割を負っています。国民にとって正しい判断がなされるように与野党で議論を尽くすことも、薬剤師資格を持つ国会議員としての私の役割です。

薬剤師の代表として「本田あきこ」さんに国政での活動の場が与えられ、ともに仕事ができることを祈念します。一人でも多くの薬剤師が国会で働く場を得ることを願っております。

本年も微力ではございますが、会員の先生方のために働く所存でございます。この一年が皆様にとりまして良い年となりますように心からご祈念し、年頭のご挨拶と致します。



## 編集後記

社会情勢の変化に対応するために

新しい年の幕開けは、過去の積み重ねの上に成り立っている。将来を展望するならば、過去に学び、人口動態の変化など、将来に待ち構えている社会情勢の変化を捉えて、これに備えて行かなければならない。

本田あきこ副会長が繰り返し述べているように「自然災害は、必ず起こります。従って、これに備えるべき顔の見える関係を持った医療救護班を法律上に明記し、常置すべきです。」は理にかなった主張だ。

医薬品医療機器法の改正も議論が進んでいるが、これもそれぞれの時代の先人たちが何を切望してきたのかという理念を学び、変化し続ける社会情勢に対応した法律としてもらいたいと願っている。法律を変えなければ制度は変わらない。しかし、ここで重要なのは私たちが変わらなければならぬという点だ。そして、薬剤師という範疇だけでは社会の一員とは言えない。

現在、IoT、AIそしてビッグデータがキーワードとなり、第四次産業革命が進行している。①画一的サービス提供から個々にカスタマイズされたサービス、②既に存在している資源・資産の効率的な活用、③AIやロボットによる、労働の補助代替、④ビッグデータの収集と共有である。その先端は車の自動運転にみられる。道路交通網を山林に巡らされた林道も含めてビッグデータ化し、交通弱者と言われる高齢者の行動範囲は広がることになるだろう。

我々は、本田あきこ副会長に薬剤師の将来を託した。平成が新しい年号に変わる年に、新たな薬剤師像を示すために支援の輪を広げていきたい。

(Y・T)

### 広報委員

- 安東 哲也、石井 甲一
- 小野 春夫、鳥海 良寛
- 大澤 泰輔、大原 整
- 近藤直緒美、渡邊美知子